



TITLE:

# 地方財政ノ調整

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

---

CITATION:

神戸, 正雄. 地方財政ノ調整. 經濟論叢 1915, 1(1): 58-82

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126868>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

# 經濟論叢

號一第

卷一第

## 論說

●貧富問題(二)

●でろゐつゝ・ひゆーむノ經濟學說(二)

●地代ノ性質ニ就テ

●地方財政ノ調整

## 雜錄

●減債基金ト鐵道資金

●獨逸ノ自治制ニ就テ

●戰爭ト社會問題

●津村博士ノ國民經濟學原論ニ就テ

## 雜報

●租稅ノ新傾向

●佛國ノ外國放資

●佛國植民地ノ現勢

●著名ノ婦人ニ關スル統計的研究

●麥ノ收穫ト米價

●最近人口靜態統計

●日本經濟叢書第十二卷ヲ讀ム

●和田垣教授在職二十五年祝賀

●Robert Meyer 逝ク

●ひにゝるゝるわばーりゆー氏ノ陳亡

法學博士

田島錦治

法學博士

福田德三

法學博士

戸田海市

法學博士

神戶正雄

法學博士

小川郷太郎

教授

財部靜治

講師

米田庄太郎

法學博士

河上肇

法學博士

神戶正雄

助教授

小川郷太郎

法學博士

山本美越乃

講師

河上肇

法學士

高田保馬

法學士

大山壽

法學博士

本庄榮治郎

法學博士

神戶正雄

法學博士

小川郷太郎

織田萬

# 地方財政ノ調整

法學博士 神 戸 正 雄

## (一)

一體、財政學ノ中デモ地方ノ事ハ比較的遅レテ居ル。往々ニシテ開却サレテ在ル。一言ノ此ニ説キ及バヌ教科書モ少カラヌ。參考文書多クナイ。唯ダ此方面ノ研究ノ遅レテ居タダケ、近頃之ガ缺陷ヲ補ハウトシテ歐米ニ於テ研究シ初メタ人モ多ク

ナリ、之ガ専門家モ出テ、文書モ續續出テツツアリ、特ニ各地方團體ガ競フテ其報告書ノ整頓ヲ計リ、成績ノ顯著ナルモノガアル。之ト比較シテハ日本デハ此方面ノ研究ハ未ダ幼稚デ、獨逸ノ二三十年前ト略ボ同トイフテ良イ。然ルニ實際ニハ一國ノ中央部ノ事ノミ研究サレ整頓シテモ、地方部ノ事ガ之ニ伴ハナイデハ、決シテ完全ナル發達トハ言ヘナイ。國ノ財政トイフテモ、所詮地方財政ノ整否ニ影響セラレナイ譯ニ行カヌカラ、國ノ財政ヲ整頓スルニモ、地方財政ヲ整頓スル必要ガアリ、其レニ地方財政ハ地方財政トシテ獨立ノ使命アリ、獨立ノ價值アルモノデアルカラ、國ノ財政ト離レテモ、整頓スヘキモノデモアル。予ハ日本ノ此缺陷ニツキテノ世ノ注意ヲ惹起シタイトノ希望カラ、最近ノ外遊中、地方財政ニ關スル各種ノ材料ヲ蒐集シタ。順次之ヲ整頓シテ紹介シタイト思フ。地方財政ニツキ色々ノ問題アルガ中ニモ、先ツ其根本トイフヘキ調整問題。カラ述フルコトトスル。

## (二)

財政ニ於テハ出ツルヲ計ツテ入ルヲ定メ、而モ其結果ガ收支適合ヲ得、剩餘トモ

不足トモナラスコトヲ理想トスル。勿論此ノ出ツルヲ計ツテ入ルヲ定ムルトイフコトニハ顧慮ヲ要スルモノアルコトハ予ガ嘗テモ唱ヘタ所デアルガ、而カモ其ノ原則トシテハ、妥當ナルコト言フ迄モナイ。收支適合無過不足トイフコトニ就イテハ、豫算上之ガ出來ルニシテモ、決算上之ガ出來ルコトヲ望ムノハ不能デアル。決算上收支一致トナルコトハ極稀ナル偶然ノ出來事デアルカ、乃至ハ財政家ガ收支スル上ニ人工的ニ無理ヲ行ツタ結果ニ外ナラス。當リ前カラ行クト、大抵ハ收支不適合ニナル。其結局不適合ニナルヘキ收支ヲ豫算ノ上デ適合サセヤウトシテ苦心スルノハ、或ハ愚ノ骨頂ノヤウニ思ハルルガ、併シ收支ノ中、確定的ナルモノハ別トシ、動搖的ナルモノニツキテハ一應豫算作成ノ時ニ、過去數年ノ平均的結果ニ基ツキ、此ニ其年々ノ事情見込ニヨリ多少ノ斟酌ヲ加エテ決定シタル所デ、確定的ナルモノト一緒ニシテ、收支適合ヲ得サセテ置ケバ、假令決算ニ至テ齟齬カ生ジテモ、豫算上夫ノ適合ヲ得サセナカツタトキヨリモ、其齟齬ガ少イトイフコトガ言ヘル。豫算ニ於テ人事ノ盡スヘキダケヲ盡シテ置クトイフコトハ、最、慎重ナル、財政ノ仕方デアル。豫算ニ於テ出來ルダケ收支適合ヲ作ルコトニ努ムルガ最肝要デアル。

### (三)

然ルニ此豫算ニ於テ收支ヲ適合サスルコトハ決シテ單ニ機械的ニ收支ノ數字ヲ適合サスルトイフゾデナク、前述ノ如ク動搖的ナル收支ノ計算ノ據ル所ハ各箇ノ收入ナリ支出ナリニ於テ過去幾年カノ平均トイフカ如キ客觀的標準デ、之ニ其年々ノ經濟界ノ景況ノ豫想ニヨリ斟酌ヲ加エタ所デ、確定的ナル收支ト一緒ニシテ收支適合ヲ得サセヤウトイフノデアルガ、右ノ動搖的ナル收支ノ計算標準ヲ過去數年間ノ平均トシタ所デ、其ト確定的ナル收支トノ合算ノ結果ガ過去ニ於テ收支適合トナツテ居ラスカラ、之ヲ標準トスルトイフコトニ收支適合ヲ齎ラス上ノ効用ハナイ。又過去數年ノ方デ偶偶收支適合ガ得ラレタ所デ、問題トナル年ニ於テハ過去ノ年ニ現ハレナカツタ收支ノ項目ガ生ジ得ル。過去年ニ現ハレテ新年度ニ現ハレヌモアル。過去ノニ據ツラモ此新年度ニ於ケル收支適合ハ必ズシモ期セラレヌ。加之其年々ノ經濟界ノ景況ノ豫想ニヨリ斟酌スル上カライフト、收支トモ右ノ結果ニ多少ノ變更ヲ加エナケレバナラナクナルガ、特ニ支出ヨリハ收入ノ方ニ

動搖ノ可能ガ多ク、結局此收支、適合トイフコトハ豫算上ニスラモ達スルコトガ困難トナル。其ヲ良キ加減ニ適合サスルコトハ出來ヌデハナイガ、左ウナルト、夫ノ客觀的標準ニ基キ適當ナル主觀的斟酌ヲ加ヘテ決定スレバ餘ルヘキニ拘ラズ、其ヲ剩サヌヤウニ支出ノ方ヲ過大ニ見積ツテ收支ヲ適合サセ置キ、結局實際ニ於テ濫費スルコトトナルノ不都合ガアリ、右適當ナル計算カラ行クト足ラヌコトトナルヘキニ拘ラズ、租税等ヲ過大ニ見積ツテ收支ヲ適合サセ置キ、結局其徵收手加減ヲ嚴重ニスルトイフ不都合ガアル。特ニ此ハ營業税所得税等ニ最モ著シク現ハレル。一體斯ノ如キ不況年ニハ租税ヲ増徴スヘキデナク、寧ロ之ヲ輕減スヘキデアルノニ、却ツテ此際加重スルトイフノハ私經濟ニ取リテハ二重ノ苦痛デ、經濟政策トシテハ勿論、税源愛護ノ財政政策カライフテモ探ルヘキデナイ。或ハ其ノ豫算上餘ルヘキ年ニ、恰カモ公債ノ起スヘキモノデモアルナラバ、此剩餘ダケ公債ノ起債ヲ減ラスコトハ出來ル、ガ必スシモ此アリトハ限ラヌ。其レダケ租税目ヲ減ズルトカ、税率ヲ減ズルトイフコトハ常ニ出來得ルコトデハアルガ、此ハ必スシモ實行スヘキ事デナイ。此剩餘ガ恒久的デナイ以上ハ斯クスレバ其剩餘年ダケハ良イガ、他日逆

年ニ至リテハ勿論、年ニナリデモ困マルコトニナル。一ノ年ニ時ニ應ジテ税制ヲ變化スレバ良イトイフガ、其ハ宜シクナイ。私經濟ヲ不安ニ陷ラシムルコトニナル。租税及税率ハ成ルヘク確定不動ナルコトガ私經濟ヲシテ安ンジテ活動シ發達セシムル所以デアル。之ヲ注意スルコトハ獨リ經濟政策上ノミナラズ、財政政策上ニモ肝要デアル。財政ノ基礎ハ私經濟ノ繁榮ニ在ルカラ。其ンナラトイフテ新ニ支出事項ヲ増スノハ必要ナキノミナラズ、有害デアル。財政ニ於テハ支出定マツテ收入ニ及ブモノデ、既ニ適當ナリトシテ、定メタル支出ヲ收入事情ノ爲メニ増加スルハ當ヲ得ヌ。臨時工事ヤ特ニ臨時公債償還ヲ行フハ此ノ場合最妙也トモイハルルガ、此剩餘ヲ生ズル如キ順年ニ斯ノ如ク金ヲ出スノハ、唯サヘ好景氣ナルモノヲ一層刺戟シ過ギル。其反動ガ恐ロシイトイフコトニナル。結局此際剩ツタモノハ餘ツタトシテ殘シテ置クコトガ適當デアルガ、單ニ豫算上ニ殘シテ置ケバ、遂イ年度中ニ何ガ理由ヲ附ケテ濫費スルコトトナル誘惑ガアル。矢張り此ガ決算ニヨリ確定シタ上デ凡ヘテ一ノ調整基金ノ如キニ向クルコトト定メテ置ケバ此弊ヲ防グコトガ出來ル。豫算上足ラヌ場合ハ何ウスルカ。經費節約ニ依ツテ解決スルトモイヘ



ルガ、此經費ガ各種ノ事情ヨリ割出シテ重要ナルモノタル以上ハ、此ハ不都合トイハナケレバナラヌ。勿論其中ニハ一日ヲ忽フスルニトノ出來ヌトイフ程デナイモノガアリ、繰延ノ行ハルル餘地ハアル。併シ其結果唯サヘ逆年デ社會ノ困テ居ルノヲ一層困ラ、ストイフ缺點ガアル。茲ニ若シモ幸ニシテ前年ノ剩餘金ガアレバ良イガ、此ガ既ニ費ヒ盡サレテ居ルト之ニ依ルコトハ出來ヌ。公有財産ノ拂下トイフコトモアルガ、之モ必スシモ多キヲ望ムコトハ出來ヌ。其レナラバ租稅ヲ増スカ公債ヲ起スカニ依ルトイフガ、恒久的ニ平年ニテモ不足トナル程ノ狀勢ナレバ、此増稅ニ依ルヘキデアルガ、偶々逆年ナルガ爲メニ不足トイフノナラバ、此増稅ハ後年ニ過支出ヲ誘フコトニナルカラ、避クヘキデアル。戰爭ノ場合ニハ特段ナル理由ヨリ増稅ヲ認ムルガ、其デモ後年過支出ノ弊ハアル。一時的ニ増稅スルトイフガ、一旦増稅スルト、此ガ恒久的トナリ易ク、茲ニ財源アルノ故ニ何ントカ理屈ヲ附ケテ必スシモ入リモセヌ新需要ヲ生ジ易イ。避ケタ方が良イ。勿論人民ノ負擔カライフテモ、前ニモイフ如ク當時ハ唯サヘ困ツテ居ル時デアルカラ、此時ニ増稅スルハ良クナイ。起債ニ至テハ、一時的不足ニ對スルコトデアルカラ、不適當トハイヘヌヤウニ考

エラルル。併シ其レテモ自由ニ許スコトニナルト公債過發ニナル心配ガアルカラ  
之ニハ法律上ノ制限モ生ズルコトニナル。我國ノ法律デハ負債償還ノ爲メ永久の  
利益トナルヘキ支出ノ爲メ又ハ天災事變等ノ爲メ必要ナルトキニ限ルトシテ居  
ル。府縣制一一七郡制九五市制一三二町村制一一二此制限ヲ嚴格ニ守ルト問題シ  
場合ニ必スシモ起債ニ依レナイノミナラズ此ハ理屈ヲ附ケテ起債スルコトトシ  
テモ事實上起債ニハ色々ノ面倒ガアリ少クトモ起債ニ伴フ出費モアル。此ハ矢張  
リ足ラナケレバ足ラヌトシテ置き足ラヌダケハ前ノ剩ツタ時ニ積立テ置キタル  
基金カラ繰入レテ充タス其レデ收支適合サスルコトニスヘキモノデアル。豫算確  
定ノ後豫想變動ノ爲メ追加又ハ更正トナルコトモアルガ府縣制一一九郡制九七  
市制一三四町村制一一四其ニツイテモ右イヘル所ヲ準用シテ論スヘキモノデアル。

#### (四)

豫算上收支適合ガ得ラレテモ決算上ノ適合ハ必スシモ得ラレヌ得ラレヌノガ  
當リ前テ無理ニ得サセヤウトシテ餘ッタ時ニ濫リニ使ヒ不足トナッタカラトテ

又ハナリツツアルカラトテ、嚴重ニ徴收シ出スナドハ前ニモイフ如ク、度々クナイ。餘ツタトキハ日本デハ通例、年度ニ繰越スコトナルガ、此モ次年度ニ濫費ヲ誘フ原因トナル。不足トナル場合ニ、其ガ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲メニ、結局其年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキ一時借入金ニ依ルコトモアルガ、府縣制一一七、郡制九五、市制一三二、町村制一一二、此ハ單ニ一時現金の不足デ、實質的の不足デナイカラ、此ニ多ク論ズルノ要ハナイ。其レカラ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ノ爲メニ生スル不足ハ實質的の不足デアルガ、之ニ對シテハ豫備費ノ制度ガアル。府縣制一一二、郡制九九、市制一三六、町村制一一六ガ、此豫備費ハ通例小ナルモノ、故之ニテ充タスニ足ラヌコトガアリ、更ニ不足ノ原因ガ支出ノ方デナクテ、收入ノ方ニ在ツテ、收入ガ豫算ヨリモ減少ノ結果ヲ見タトイフコトハ頗ル多イ。之ニハ豫備費ハ用ヲ成サヌ。此等ノ必要ノ爲メニ他ノ方便ガナケレバナラヌ。此ニ對シテ俄カニ増税トイフコトモ、右ノ必要ガ恒久的デナイ以上ハ先ツ行フヘキモノデナイ、其理由前ニ舉グルト同一デアル。起債トイフコトニモ法律上及事實上ノ故障ノアルコト前記ノ通りデアル。勿論増税ヤ起債ニ依ルコトノ至當ナル場合モアルガ、少クトモ偶々順年又ハ

逆年ナルガ爲メニ過不足ヲ生スルモノニ對シテハ、餘レルトキ積立テ置キテ、足ラザルトキニ之ヲ使用スルコトトスルガ穩當デ、其他ノ方法ニヨルノ不利ヲ避クルコトニナル。

## (五)

或ハ斯クスレバ一時無用ニ金ヲ眠カストノ非難モアルガ、此ハ殆ンド全部有價證券ニ利殖スルコトガ出來ル。或ハ實例ニ依レバ或度マデ政府ノ運轉資金トシテ使用スルコトガ出來ル。決シテ無用ニ置クモノデナイ。尤モ運轉資金ニ使フトイフコトト逆年ニ經費ニ充當スルコトトハ兩立サスルコトガ困難デアルカラ、夫ノ金ヲ此運轉資金ニ使フノハ良クナイ。寧ロ別ニ利殖スルガ適當デアル。放資物體トシテハ内國債ノ如キガ適當デアル。丁度順年ニハ事業證券ノ需要ガ強烈デ國債ニツキテハ供給ガ割合ニ多ク、逆年ニハ資金ノ事業證券ニ向ヘルモノノ去ツテ國債ニ向ハントスル傾ガアリ、前ノ時ニ買入レ後ノ時ニ賣放ツテ財政上ノ必要ニ應ズルニ都合ガ良イカラ、或ハ斯カル基金ニナルヘキモノタケ徒ラニ人民ニ過重ノ負擔

ヲ課シタ結果、デアルト非難スルカ、此ハ本來強イテ平年ニ過重ノ負擔トナル程ノ租税ヲ人民カラ取ツタモノデハナイ。偶々、順年ナルガ爲メニ多ク收額ヲ生ジタ、其ヲ積立テタニ過ギナイ。人民ニ過重ノ負擔ヲ負ハシタトイヘナイ。却ツテ斯ノ如キモノナケレバ、順年ニモ餘ツタカラトイフテ人民ノ負擔ヲ輕フセラルルコトトナラナイデ、矢張り濫費セラレ終ルコトニナリ、逆年ニ至テ別ニ依ルヘキノ基金カナイカラトイフテ過重租税ヲ課スルコトトナリ、又ハ此時ニ公債ヲ起シテ、結局ニ於テ後世ニ過重租税ヲ殘スコトトナルヘキヲ不用ニ歸セシムルノ利ガアル。又此基金ガ無用ドコロカ、大ナル利益ガアル。前ニモ少シク述ヘタコトデアルガ、此ガナカツタナラバ、餘ルヘキ年ニ又ハ餘ツタ年ノ後ノ年ニ濫費ヲ爲シ、又ハ例之臨時工事トカ臨時公債償還トカニ使フノハマダ良イガ其デモ尙ホ此年ノ唯サヘ好景氣ナルヲ一層刺激シテ恐ルヘキ反動ノ因ヲ作り、逆年ニ至テ唯サヘ不景氣ナル所ヘ、租税ヲ増率スルトカ、其程デナクトモ租税ノ取方ヲ嚴酷ニスルトカ、公債ヲ起ストカ、又ハ事業ヲ繰延ブルトカ、一層此不景氣ヲ助長スルコトトナル。好景氣ト不景氣トノ極端ヲ作ル、決シテ經濟ノ健全ナル發達ヲ遂グル所以デナイ。夫ノ基金ガアルト、

此好。不。景。氣。ヲ。緩。和。ス。ル。コ。ト。ニ。ナ。ル。順。年。ノ。好。景。氣。ヲ。過。張。セ。シ。メ。ズ。逆。年。ノ。不。景。氣。ヲ。幾。分。好。況。ニ。向。ハ。ス。コ。ト。ニ。ナ。ル。特。ニ。此。逆。年。ノ。不。景。氣。緩。和。ト。イ。フ。コ。ト。ハ。頗。ル。重。要。デ。社。會。政。策。ニ。モ。關。ス。ル。斯。ノ。如。キ。年。ニ。ハ。勞。働。者。等。ノ。失。職。モ。多。イ。カ。ラ。之。ヲ。救。フ。爲。メ。ニ。積。極。的。ニ。公。債。デ。モ。起。シ。臨。時。工。事。ヲ。起。シ。テ。マ。デ。モ。職。ヲ。與。フ。ル。方。策。ノ。勸。メ。ラ。ル。所。デ。ア。ル。カ。ラ。其。程。デ。ナ。ク。ト。モ。財。政。上。ノ。施。設。ガ。少。ク。ト。モ。平。生。通。リ。行。ハ。ル。ル。コ。ト。ガ。出。來。テ。モ。幾。分。カ。此。目。的。ヲ。達。ス。ル。コ。ト。ニ。ナ。ル。加。之。此。制。度。ハ。公。債。擴。張。ノ。制。限。ニ。ナ。ル。租。稅。擴。張。ノ。制。限。ニ。モ。ナ。ル。ノ。效。ガ。ア。ル。直。接。ニ。租。稅。擴。張。ノ。制。限。ト。イ。フ。コ。ト。ハ。必。ス。シ。モ。イ。ヘ。ナ。イ。大。體。右。ニ。イ。フ。如。キ。逆。年。ノ。不。足。ノ。如。キ。ハ。恒。久。的。ナ。ル。租。稅。ニ。ヨ。リ。充。タ。ス。ヘ。キ。モ。ノ。デ。ナ。イ。カ。ラ。然。シ。間。接。ニ。租。稅。擴。張。ヲ。制。限。ス。ル。ノ。效。ハ。ア。ル。公。債。ノ。起。債。ヲ。不。要。ト。シ。隨。テ。公。債。費。隨。テ。又。租。稅。擴。張。ヲ。制。限。ス。ル。コ。ト。ニ。ナ。ル。カ。ラ。調。整。基。金。ガ。萬。能。膏。デ。ハ。ナ。カ。ラ。ウ。ガ。諸。多。ノ。弊。害。ヲ。救。濟。シ。諸。多。ノ。利。益。ヲ。與。フ。ル。モ。ノ。タ。ル。コ。ト。ハ。爭。ハ。レ。ヌ。

## (六)

右。出。ヨ。ツ。テ。調。整。基。金。ハ。重。要。ハ。明。カ。デ。ア。ル。ガ。何。故。ニ。此。ガ。地。方。財。政。ニ。於。テ。國。家。財。

政ニ於ケルヨリモ、一層重要カトイフト、(一)ハ國家財政ニ於テハ公債ノ起債ガ容易ナルノニ、地方ノ場合ニハ之ニツキ法律上ノ制限ガアリ事實上ニモ困難ナルモノガアルカラトイフニ歸スル。デ地方財政ノ爲メニ其起債ヲ便利トスル機關ガ起ルコトトナレバ、或ハ此基金ノ必要ガ少クナルデアラウガ其デモ尙ホ此基金ニハ獨特ノ利益ガアリ、棄テラルヘキデナイ。國家起債容易トハイヘ尙ホ之ニ依ルヲ利トスルモノモアル。(二)ハ地方團體ニハ國ノ場合ヨリモ其收入ニ私經濟的收入ガ一層多ク、此ガ世ノ好不景氣ニヨリ動搖スルコトガ多イカラストイフニ在ル。デアルカラ國家ノ場合ニ此基金ノ設ケラルルノハ多ク、ハ此私經濟的事業經濟ニ關聯シテ居ル。然リトテ租稅收入モ夫ノ影響ナシトイヘヌ。特ニ交通稅、消費稅ニハ著シク營業稅ヤ所得稅ニモ可ナリ此影響ガアル。國家財政ニテモ此基金無用也トハイヘヌ。兎ニ角此基金ノ地方財政ニ於テ勸ムヘキコトハ殆ト通説トイフヘク、學者ニテハしやんつ、つゝどう、はいんれ、もすと、しよるつ、あーん、が、いる、へんりつひ等此ヲ勸ムル。之ヲ定義スルナラバ、順年ニ決算上ノ剩餘金ノ一部又ハ全部ヲ積立テ置キテ、他日逆年ニ於ケル全財政又ハ其特別分科ノ不足ヲ充タス爲メニ使用

セラルルモノトイヘバ良カラウ。尤モびつたノ如キハ此ニヨリ充タサルヘキ不足ヲ決算上ノ不足ニ限ルガ其ニハ及バヌコト上説ノ通りナルノミナラズ、後述ノ實例ニヨルモ明デアル。或ハはいんれノ如キハ逆年ニ基金ノ利子ノミ使用スルコトニ重キヲ置クガ、利子ノミナラズ元本ヲモ使ツテコソ、此基金ノ趣旨ニ適フ。此基金ハ日本デハ法制上特別ノ指定ハナイガ、一般の規定トシテ、地方團體ニ特定ノ目的ノ爲メニ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得、府縣制九八、郡制八五、市制一〇九、町村制八九トイフノガアル。通例ハ之ニ基イテ基本財産ヲ積ンデ其利子ノミヲ收入トシテ使フコトトシテ居ルガ、元本自身モ使フ所ノ調整基金設定ノ根據トモナリ得ル。

## (七)

調整基金ガ國ヨリモ地方團體ニ於テ一層重要トイフコトハ以上ノ如クデアルガ、茲ニはいんれつあゝどう等ハ此ガ工業的<sup>○</sup>地方團體<sup>○</sup>ニ特ニ重要ナリトイフ。其理由ハ一ハ工業ノ發達セル地方團體デハ其租稅給付能力ガ營業生活ニ於ケル好不景氣ニヨリ動搖スルコトノ多イトイフコトト、工業ノ發達セル大都市デハ市營事



業收入ガ重要デ、此ガ好不景氣ニ影響セラルルコト大デアルトイフコトニ在ル。併シ、實際ハ工業的地方團體バカリデナク、田舎的地方團體デモ、其產物ノ收穫ニ豊凶ガアリ、市價ノ動搖モアツテ、豊年ニモ尙ホ困マルコトスラアリ、隨テ年ニヨリ租税ノ滯納ヤ不納ハ少クナイ。私經濟的收入ハ租税ヨリハ動搖ノ著シキコト勿論デアルガ、何ゾレ地方團體ノハ多ク電燈瓦斯電車水道ノ如キモノデ、甚シク好不景氣ニヨリ動搖スルコトハナイ。田舎地方團體ニテモ此基金ヲ輕ンズルコトハ出來ナイ。又近頃獨逸ノ各地方ニ於テ此ヲ設立スルコトトナツタノハ決シテ斯ノ如ク單ニ彼等ノ收入ノ性質カラ割出シテ必要ヲ感ジタトイフノミデハナイ。特段ナル租税法改正ガ其收入ハ動搖性ヲ大ニシタコトニ促サルルヤ大キイ。即チ前記論者ノイフ如ク、ムシロ私經濟的收入ノ方面デハナクテ租税ノ方面ニ設立必要ノ動機ノ存スルコトハ注意スヘキデアル。例之つあゝんノぢゆつせるどるふ市會ニ提議シタル所ニ依ルト、舊來ノ一八九一年ノ所得税法ニヨレバ動搖スル所得ハ直接賦課年ノ前三年間ノ平均ニヨリテ定ムルコトトナツタガ、一九〇六年ノ改正法ニヨレバ此三年平均制ガ單ニ斯ノ如キ計算ニ對シ信賴スヘキ基礎ノ存スル場合ニ限ラル

ルコトトナリ、寧ロ自然人ノ所得決定ニ關スル原則トシテハ賦課年ノ前ノ曆年ノ成果ニ依ルトナルガ爲メ、一層所得稅收額隨テ附加稅收額ガ動搖スルコトニナル。之ニ應ズル爲メニ此基金設定ノ必要アリトイフ。又あゝべるガみゆんへんニツキイフ所ニヨルトはいねるんノ一九一〇年ノ直接稅改正ニヨリ此國ノ直接稅ハ從來ノ純然タル收益稅制度カラ、收益稅ト所得稅トヲ結合シ、而モ後者ニ主要ノ地位ヲ與フル制度ニ移ツタ爲メニ、地方ノ租稅收入ニモ從來ヨリモ一層ノ動搖ガ生ズルコトトナルヘク、之ニ應ズル爲メニ此基金必要ナリトイフノデアル。然ラバ則チ我國ノ如ク所得稅ト收益稅トヲ結合スル直接國稅制度ヲ採リ、其等ニ於テ特ニ勿論所得稅ト營業稅トニ於テ所得稅ニ於ケル僅小ナル例外ノ外、一年收額標準主義ヲ採リ、地方財政ガ之ニ附加稅ヲ課スルヲ例トスルニ於テ、同様ノ願慮ノ下ニ基金ノ必要ガアル譯デアル。

## (八)

タダ此基金ヲ高唱スルノ餘リ諸多ノ學者ガ誤解ニ陷ツタコトハ之ヲ解明スル

コトヲ要スル。例之しよるつ、はいんれ、もすと等ガ整ヒモ整ツテ此基金ニ依ルコトハ公債ニヨルヨリモ地方財政ニ取リテ一層安價ニ資金ヲ集ムルモノナリトイフ。即チ百萬馬克ノ公債ヲ起シタトスレバ結局之ヲ償還シナケレバナラス。之ガ爲メニ三十二年間（利子ハ三分七厘五毛、償還ハ元利濟崩ニ從ヒ年々五分五厘ツツ）年々五萬五千馬克ツツ支拂フヲ要スルコトナル。然ルニ同年間ニ百萬馬克ノ準備基金ヲ集ムルトスルト唯ダ年々一萬九千〇四十八馬克五十二布ツツ蓄積スレバ足ル勘定デアルトイフノデアル。三十二年間ニ利倍増殖シテ結局百萬馬克トナル。此ハ併シ誤解デアル。過去ノ三十二年間ニ百萬圓ヨリモ小ナル金額ガ今日トナレバ利子合算ノ結果百萬圓ニナル。其元金ト三十二年後マデノ間ニ百萬圓ガ利子ヲ伴フテ百萬圓以上トナル。其金額トヲ比較シテ、兩者ノ間ニ財政上ノ犠牲異ルトイフガ此ハ異ラヌ時差ニヨリ同一ノ金ノ價值ニ差異ガアリ、三十二年前ノ壹圓ハ今日ノ壹圓ヨリハ價值ガ大ニ、今日ノ壹圓ハ三十二年後ノ壹圓ヨリハ價值ガ大デ、前例ニ於ケル三十二年前期ノ平均一萬九千〇四十八馬克五十二布ガ丁度三十二年後期ノ平均五萬五千馬克ト同一價值トナルカラ。更ニ他ノ言ヲ以テイヘバ、三十二年

前期ノ平均一萬九千餘馬克ヲ公私經濟的事業ニ使フトスレバ、其國家公共ノ政治上ノ位地ヲ改良シ、精神的文化ヲ進メ、經濟的發達ヲ促シ、國民ノ租稅給付能力ヲ増進シテ三十二年後期ニハ平均五萬五千馬克ダケノ價值ヲ生スルコトニナルカラ。今一ツ誤解トイフ程デハナイガ賛成ノ出來ヌ説ハあーべるガ特ニ大地方團體デハ其地方債市價ヲ維持スル義務ガアルガ此基金ガ地方財政ノ運轉資金トシテ此目的ノ爲メニ地方債ヲ賣買スル資金トスルニ適當スルトイフノデアル。成程大地方團體ハ其地方債市價維持ヲ得策トスルガ此ハ地方團體自身ニテ行ハルルヨリハ寧ロ特別ノ機關ニテ行ハルル方ガ適當ト思フ。此點ハ後日ニ譲リ暫ラク之ヲ地方團體自ラ行フトシテ、何ゾレ此基金ハ金ノ儘ニテ遊バス譯ニ行カズ、有價證券ニ放下サルルコトトナラウガ其際ニ其地方債ニ放下シテ、之ガ下落シテ鈎上ヲ要スルトキハ買入レ、其上レルトキニ賣出ス。ソシテ丁度夫ノ順年デ基金ノ増ストキハ恰カモ各種事業證券ニ對スル需要ガ増シテ、資金ガ地方債ノ如キヲ去ラントスル時デアリ、逆年デ此基金カラ經費ニ向ツテ金ヲ出スノ要アルトキハ、丁度社會ノ資金ガ事業證券ヲ去ツテ地方債等ニ向ハントスル時デアアル、旁々好都合ノヤウニ見

ユルガ、併シ此ガ必スシモ然リトイヘナイ。丁度順年ノ時ニ其地方債ノ賣物ガナク逆年ノ時ニ其地方債ノ買手ノ乏シキコトモアリ得ル。此ハ良イトシテモ、平年ノ時ニモ地方債市價維持カライヘバ活動ノ必要ガ起リ得ルガ、此基金デハ之ヲ爲ス餘裕ガナイコトガアリ得ル。デ地方債市價維持ト此基金ノ利殖トハ別ニスルガ適當デアル。基金ノ一部ヲ其地方債ニ利殖スルコトハアツテモ之ガ利殖カライヘバムシロ市場ノ一層廣キ安全ナル國債ノ如キニ向クル方が得策デアル。

## （九）

終リニ此調整基金ノ實例ヲ調ブルト下ノ如クデアル。

（一）創立年代 カライフトふらんくふるとあんまいんハ一八九七年デ最古ク、一

九〇二年ニういるまーすどるふ、一九〇六年しやろつてんぶるぐ一九〇七年にるばーふにるど、びーれふにるど、けーにひすべるひ、一九〇八年くれふにるど一九〇九年きーる、ぶらうんしゅわいひ、一九一〇年けるん、一九一一年どるとむんど、ぢゅせつるどるふ、ういーすばーてん、一九一二年みゅーるはいむあんらいん等デアル。

(二) 特段ナル條例ノ有無 之ニ關スル特段ナル條例ヲ有スルガ例デアルガ、之ナクシテ慣例上之ヲモツモ少クナイ。例之びーれふねるど、ぼくむ、くれふねるど、どるとむんど、ねるばーふねるど、はのーふあー、いーせるろーん、みゆーるはいむ、のいけるん、ういすばーでん、ういるまーすどるふ、

(三) 財源 之ニ關スル各地方ノ探ル所區區ニ出ヅル。

(イ) 單ニ決算上ノ剩餘金トスルモノ、びーれふねるど、ぼくむ、くれふねるど、どるとむんど、ぢゆつせるどるふ、ねるばーふねるど、はるばーすたつと、みゆーるはいむ、のいけるん、

(ロ) 一年度末ニ其剩餘金ヨリ支拂未濟經費ノ支拂ノ爲メニ必要ニシテ決算現金トシテ次ノ決算年ニ移付サルヘキモノヲ控除シタル殘額トスルモノ、へるね、けーにひすべるひ、

(ハ) 決算上ノ剩餘金ノ一部トスルモノ、けるん

(ニ) 決算上ノ剩餘金ノ半額トスルモノ、きーる

(ホ) 各年ノ決算上ノ剩餘金ニシテ一定金額ヲ超過スル部分トスルモノ、しやろつ

てんぶるぐ、(二) 定金額ハ百萬馬克)

(ヘ) 主トシテ經常財政ノ剩餘金トスルモノ、ういるまゝすどるふ、

(ト) 經常部剩餘金並ニ其他トスルモノ、ぶらうんしゆわいひ、(1) 條例上 (a) 光及水

ニ關スル市營業剩餘金 (b) 一般會計ニテハ決算上ノ經常部剩餘金 (2) 市會ノ決議  
ニヨリ其他)

(チ) 經常財政ノ剩餘金ノ半額トスルモノ、ふらんくふるとあんまいん、(殘ノ半額ハ  
臨時費ヲ充足)

(リ) 租稅收入ノ實收額ノ豫算超過額又ハ其一部トスルモノ、いゝせるろーん、移轉  
稅ノ豫算額一萬六千馬克ヲ超ヘテ收入サルル過剩收入、及其他ノ地方稅過剩收入  
ン六千馬克ダケ)

(ヌ) 土地増價稅收入、おつふねんばつは、

(ル) 一定ノ原則ニ依ラザルモノ、はのゝふあゝ、

(四) 金高 基金ノ金高ニ制限ヲ附セナイノガ例デアルガ、間々最高又ハ最低限ヲ  
附スルモアル。

(イ) 最高限ヲ附スルモノ、びーれふねるど(百萬馬克)けーにひすべるひ、(百萬馬克)ふらんくふるとあんまいん(百六十萬馬克)此額ニ達シタル以後ノ剩餘金ノ處分ハ市會ノ決議ニヨルへるね、(二十萬馬克)之ガ計算ニ於テ有價證券ハ呼價ニヨル。年末ニ於テ相場ガ呼價以下トナレル場合ニハ實價ニヨル。基金ガ右最高限以上トナルトキハ、其超過額ハ特別ノ決議ナキ以上ハ次年豫算ニ於ケル臨時收入トス)

(ロ) 最低限ヲ附スルモノ、はるばーすたつと、(二十萬馬克)此額以下トナルトキハ基金ヲ使用スルコトヲ停止ス)ぶらうんしゅわいひ(三十萬馬克)後記使用目的(a)ノ爲メニ使用シテ基金ガ一年以上、三十萬馬克以下トナルヲ得ナイ。一年以内ハ右額以下トナルコトヲ得ルガ、其間ハ(b)(c)ノ目的ノ爲メニ之ヲ使用スルコトヲ停止ス)

(五) 規則正シク蓄積スルヤ否、通例所定ノ金ヲ規則正シク蓄積スルガ、間々不規則ナルガアル。例之ぼくむ、けるん、

(六) 利殖、基金ハ利殖セラレ其利子ハ更ニ基金ニ加エラルルヲ通例トスルガ、特例モアル。

(イ) 之ガ利子ヲ基金ニ入レズシテ資本及負債行政ノ收入トスルモノ、けーにひすべるひ、



(ロ) 之ヲ利殖シナイデ、市金庫ノ運轉資金トスルモノ、きゝる、ぶらうんしゅわいひ、尙ホ利殖方法ニ特段ナル指定ヲ爲スガアル。例之、ふらんくふるとあんまいん、(後見法指定ノ種類ノ利子證券ニ放資スルコト)へるね利附ノ安全ナル有價證券、抵當貸又ハ一流手形ニ放下スルコト)

(七) 使用 ニツキ各地ノ探ル所ノ主義頗ル區々ニ亘ル。

(イ) 形式上ヨリ定ムルモノ、

(1) 豫算上ノ不足ヲ充タス爲メトスルモノ、びーれふねるど、しゃろつてんぶるぐ、どるとむんど、はるばーすたつど、のいけるん、

(2) 決算上ノ不足ヲ充タス爲メトスルモノ、くれふねるど、へるね、(市會ノ同意ニヨリ行フ)けにひすべるひ、

(3) 主トシテ決算上ノ不足ヲ充タシ、併セテ豫算上ノ不足ニモ應ズトスルモノ、ねるばーふねるど、

(4) 主トシテ決算上ノ不足ヲ充タス爲メニ之ヲ用ヒ、豫算上ノ不足ハ一定額ヲ超ユル時ニノミ又之ヲ超ユルダケニ於テノミ充タサントスルモノ、きゝる、(一定額

## 五十萬馬克

(5) 決算上ノ不足ハ凡ヘテ之ヲ充シ、豫算上ノ不足ハ一定額マデ充タサントスルモノ、ふらんくふるとあんまいん、豫算作成ニ於テ所得稅減收ノ見込アルトキ、其ノ之ガ爲メニ基金ヨリ移付サルヘキ額ハ、其所得稅收額ニ此移付額ヲ加算シタルモノガ前年豫算所得稅額此ニモ基金ヨリノ豫算移付アラバ之ヲ加算ニ對シ二十五萬馬克ノ増加額ヲ生ズル限度ニ於テトスル。之ガ決算ニ際シテハ、豫算セラレタル移付ハ經常收支ノ適合ヲ作ルニ必要ナルダケニテ行ハルル。所得稅減退以外ノ原因ヨリ生ズル決算上ノ不足ハ、凡ベテ充足サルル。

## (ロ) 實質上ヨリ定ムルモノ、

- (1) 直接附加稅收入ノ動搖ヲ避クル爲メトスルモノ、ぼくむ、
- (2) 逆年ニ於ケル地方附加稅ノ引上ヲ避クル爲メトスルモノ、ねるばーふ、ねるど
- (3) 逆年ニ於ケル租稅ノ急激ナル引上ヲ避クル爲メトスルモノ、けるん、
- (4) 租稅收額及市營事業收額ノ動搖ニ應ズル爲メトスルモノ、くれふ、ねるど、同  
時ニ形式上ヨリモ定ム)

(5) 主トシテ租稅收額ノ動搖ニ應スル爲メニ、更ニ建築及土木工事ニ於ケル臨時費等ヲ充タス爲メトスルモノ、ぢゆつせるざるふ

(6) (a) 凡ヘテノ種類ノ學校建築費支出ノ爲メ (b) 絶對ニ必要デハナイガ、都市ノ發達及繁榮ヲススムル上ニ希望スベキ無收益ノ制度及施設ノ費用ノ支出ノ爲メ (c) 一般會計ノ經常收支ノ適合ヲ得ル爲メトシ (c) ハ (a) (b) ノ目的ヲ害シナイ範圍内ニ於テトスルモノ、ぶらうんしゅわいひ (一一) 市會ノ決議ヲ經テ行フ

以上ハ地方財政ニ於ケル調整基金制度ノ一班デアルガ、尙ホ參考トシテ國家ノ場合ノ例ヲ舉グルト (一) 鐵道行政ノ爲メニスル一八九九年設定ノケゆるてんべるひノヲ最古トシ、(二) 同シク鐵道行政ノ爲メニスル一九〇三年設定ノ普魯西ノ (三) 鐵道及富籤行政ノ剩餘金及帝國分擔納付金ノ増減動搖ヨリ生ズル影響ヲ緩和スル爲メニスル一九〇四及一九〇七年ノヘッセンノ (四) 鐵道及國債行政ノ爲メニスル一九一〇年ノばいねるんノ其等、大概特別目的ノ爲メニ存スル所デアルガ、獨リ (五) めにあノ一九〇五年設定ノ其ハ一般財政ノ爲メニスル所デアル。